

27

千代田区景観まちづくり重要物件

神田まつや

指定日	2003（平成 15）年 6 月 9 日
所在地	神田須田町一丁目 13 番地
設計者	不詳
竣工	1925（大正 14）年～1926（昭和元）年
文化財等 指定状況	東京都選定歴史的建造物



▲まつや（中央）

歴史・文化的特徴

神田まつやは、1884（明治17）年に現在の場所で創業しました。

この地は、明治初期に武家地を開発してつくられた地域であり、近くにあった筋違橋門内の広場は八路ヶ原と呼ばれ、交通の結節点でした。その後、1912（明治45）年に万世橋駅が作られ、周辺道路には路面電車が集中し、東京でもっとも賑わう場所となりました。また、地域の南側には、1928（昭和3）年まで青果市場があり、活気のある場所でもありました。

周辺には老舗の飲食店が多く集まっています。

東京都選定歴史的建造物にも選定されています。

意匠・構造の特徴

近代和風の建物です。創建当時の原型をよく留めています。

屋根の豪快な出し桁造り、巨大なちょうちんや看板など、大造りで個性豊かな店構えであり、2階の欄干や、1階の松の葉をモチーフに小壁をくり抜いたデザインなどに特徴が見られます。

店は、小あがりがなく、土間にテーブル・椅子式で、床は豆砂利洗い出しです。

周辺景観との関係

靖国通りから少し入った通りに面して建っており、靖国通りからもよく見ることができます。

周辺にも老舗の飲食店が多く、靖国通りから老舗街への導入部となっています。

左側の建物低層部は、和風建物を引き立たせるように落ち着いたデザインとなっています。